

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市小松島児童館		
2 指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク		
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 26,380人(前年度比 121.0%) 令和3年度 21,810人 令和2年度 18,268人		
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 47,124千円 (46,665千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、保護者会をはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>地域に子育て支援の輪を広げていくことを目標に、この数年「チームde子育て」を合言葉に保護者、地域の皆さんと共にできる活動に積極的に取り組んできました。</p> <p>3年ぶりに開催した感謝の会では、子どもたちの健気で一生懸命な姿に招待を受けた皆さんがとても感動されたようでした。この日を迎えるまで、子どもたちはたくさんの時間をかけて準備をすすめてきました。射的やお茶(水分)を提供するお部屋を用意し、ゆっくり過ごしてもらうようにしました。子どもたちはつぼの先に輪ゴムを付けてあげたり、「射的の真ん中に当てると倒れますよ。」とアドバイスをしたりしていました。お茶は注文を取れるようにいくつかの種類をそろえました。「いらっしやいませ、何になさいますか。」とメニュー表を持ってご案内しました。普段元気のいい活発な子どもたちが優しく教えたり、そそとした立ち振る舞いでお相手をするものですから、皆さんびっくりするやら感心するやら、とてもうれしそうに子どもたちとの会話を楽しんでいました。</p> <p>ご参加してくださった方々は、主に子育て支援クラブ「つきやま」や親の会の皆さんでした。コロナ禍のなか、児童館の活動をずうっと見守り、応援し続けてくださいました。特に、児童クラブの活動がより多様で充実したものになったことは、子どもたちにとって豊かな感性を磨いていくまたとない機会になりました。例えば、つきやまさんは夏休みの手作り工作教室や馬頭琴コンサート、晩秋のアフリカンダンスにウクレレ、さらにスマホとの付き合い方など、児童館だけではなかなかできない行事をたくさん行ってくださいました。また、親の会の皆さんには児童館祭りとお楽しみ会で大変なご活躍をいただきました。これらの行事を通して、多世代の人が気軽に交流し、地域の中に互いに顔の見える関係を築くことができつつあることを心から喜び合いたいと思います。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、昨年度よりも少し規模を大きくして行った児童館まつりでの子どもスタッフによるコーナー運営、難易度の高い制作活動に高学年が取り組む「ビッキーズB」等の定例行事や高校生の夏ボラ、ジュニアリーダーとの遊びを通じた交流等、異年齢による集団活動を通して社会性や主体性を育てている。また自由来館においては、児童クラブの卒業生が家族で卓球に訪れたり、中学生の定期的な利用があり地域における子ども達の居場所としての役割を担っている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会と共催の「ホッとひといきママのおしゃべりティータイム」は講師を招いて親子ヨガや英語でおたのしみ会等、季節の行事を取り入れ多彩なプログラムで参加者から好評を得ている。また成長発達や季節に応じたテーマで職員による読み聞かせ「にこにこおはなし会」や「19(いくじ)の日」のわらべうた遊びを通して乳幼児親子が絵本や物語に触れる機会を提供し、親子の触れ合いを通して乳幼児の五感を刺激し想像力を育てている。また参加した保護者の要望で絵本の貸し出しを始め、家庭での親子の関わりに繋がる取り組みとなった。</p> <p>地域交流推進事業においては、福沢市民センターまつりで地域の方に児童館への関心と理解を深めるため児童館の紹介や取り組みについてパネル展示を行った。また地域の方との柿もぎ体験や福沢市民センターの体育館でのスポーツを通じた異年齢交流等、地域が一体となって子どもが育つより良い環境作りに取り組んでいる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、子どもの思いやアイデアを具現化するために子どもの話を丁寧に聞きながら活動のサポートをしている。3月に地域のお世話になった方々を招いて行った「感謝の会」は企画運営を子ども達で担い、それぞれの立場で主体的に運営に関わった。この活動の成功体験を通してできた自信と自己肯定感を育んだ。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課